

## ■全国の特別支援学校等との連携・協力

本研究所では、全国の特別支援学校や小・中学校などから研究協力機関・研究協力者に委嘱し、研究課題等に関する情報・資料提供、指導・助言、共同開発・研究、開発した指導法・試作の実践、教材開発などの協力を得ることにより、特別支援教育に関する実地的・実践的な研究の円滑な推進を図っています。

また、平成16年度からは、本研究所と共同で研究することを希望する機関「研究パートナー」を全国から募集し、お互いの課題意識や研究方法、研究資源などを共有することにより、教育現場のニーズに対応した、相互により意義のある研究を推進しています。

### ◆研究協力機関・研究協力者、研究パートナー件数一覧表／平成21年度

(協力機関内訳)

学校	50機関
都道府県・市機関	2機関
その他	5機関

(協力者内訳)

学校関係者	59人
大学関係者・研究者	40人
都道府県・市関係者	4人
その他	15人

(研究パートナー内訳)

学校	12
大学・研究所	2
都道府県・市機関	2

## ■筑波大学附属久里浜特別支援学校との相互協力

### ◆筑波大学附属久里浜特別支援学校の概要

筑波大学附属久里浜特別支援学校は、昭和48年9月に、国立特別支援教育総合研究所が行う実際的な研究に協力する目的で、重度・重複障害児を対象に教育を行う養護学校として設置された国立久里浜養護学校を母体として、平成16年4月1日の国立大学等の法人化に伴い、筑波大学の附属の知的障害を併せ有する自閉症



児を対象に教育を行う、幼稚部と小学部を置く養護学校として設置されました。

同校では、自閉症のある幼児・児童に対して、幼稚園及び小学校に準ずる教育が行われるとともに、筑波大学における幼児・児童の教育に関する研究の推進や、学生の教育実習の実施等に対する協力などが行われています。

なお、平成16年7月、本研究所と筑波大学との間で教育研究交流に係る協定を締結し、本研究所と同校は、これまでと同様、相互協力の下に研究活動や研修事業等を推進しています。

### ◆筑波大学附属久里浜特別支援学校における教育・研究活動

筑波大学附属久里浜特別支援学校では、幼児・児童の指導に当たり、本人や保護者の期待などを踏まえた上で、一人一人の実態に即した個別の教育支援計画と個別の指導計画を作成して指導が行われています。また、自閉症の障害の特性を考慮し、コミュニケーションを円滑に行うための写真・絵・文字カード等の活用、混乱することなく行動や活動するための着替えのコーナー等の設置、個別学習や自由遊びの場所の設定など、幼児・児童にとって分かりやすい教育環境の整備にも力が注がれています。

現在、同校は、文部科学省の研究開発学校（平成22年度）の指定を受け、本研究所の研究職員による協力のもと、研究開発課題である「自閉症児のための教育課程の研究開発」の研究を進めています。